



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
コード番号 4569 URL <http://www.kyorin-gr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 正弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 伊藤 洋

TEL 03-3293-3420

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	77,413	2.1	11,668	3.1	12,358	4.3	7,227	△4.1
23年3月期第3四半期	75,821	1.7	11,312	2.4	11,848	△0.1	7,535	△0.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,235百万円 (△0.6%) 23年3月期第3四半期 7,282百万円 (—)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	96.72	—
23年3月期第3四半期	100.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	142,374	115,567	81.2
23年3月期	147,234	111,706	75.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 115,567百万円 23年3月期 111,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	35.00	45.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,100	1.0	14,900	△9.4	15,600	△8.8	10,100	△7.6	135.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	74,947,628 株	23年3月期	74,947,628 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	226,956 株	23年3月期	219,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	74,724,770 株	23年3月期3Q	74,739,669 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) その他の注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済状況は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や原発事故の影響により低調な推移を余儀なくされました。国内医薬品業界では、一定の市場の拡大はあったものの医療費抑制策が推進され企業間競争は激化し、経営環境は一層厳しさを増しました。ヘルスケア事業領域では、低迷する経済情勢にあって消費の減少も継続し、依然厳しい状況が継続しています。

このような状況下、当社グループは今年度、中期経営計画「HOPE100—ステージ1—（平成22年度～平成27年度）」の2年目として、事業戦略である「ファーマ・コンプレックス・モデルの具体化」「ヘルスケア新規事業の創出と育成」の達成と共に、次年度に予定されている薬価制度の変更などへの対応等に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上に努めました。

医薬品事業におきましては、国内新医薬品は震災に伴う昨年度3月期末の流通在庫の積み増しの影響はあったものの、主要製品の普及の最大化に努め、当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期に対し増加となりました。海外新医薬品は、主要製品の売上減少により前年を下回る実績となりました。後発医薬品は前年同期に対してほぼ横ばいで推移しました。

ヘルスケア事業は、景気低迷の影響等も継続し売上は前年同期に対して減少いたしました。

この結果、売上高は774億13百万円と前年同期比15億92百万円（前年同期比2.1%増）の増収となりました。

利益面では売上が増加し、原価率も約1ポイント低下したことから売上総利益は499億82百万円と前年同期に対し18億69百万円増となりました。原価率低下の要因は原価率の低い自社製品の売上増加、工場稼働率の向上、製造費削減等です。他方、販売費及び一般管理費は研究開発費等の増加により前年同期に対し、15億14百万円増加いたしました。この結果、営業利益は116億68百万円と前年同期に対し3億55百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益は123億58百万円と前年同期に対し5億09百万円（前年同期比4.3%増）の増益となりました。当四半期純利益につきましては、昨年12月の法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、繰延税金資産の取り崩しが発生し、法人税等調整額が増加したため、72億27百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績

売上高	774億13百万円	（前年同期比	2.1%増）
営業利益	116億68百万円	（前年同期比	3.1%増）
経常利益	123億58百万円	（前年同期比	4.3%増）
当四半期純利益	72億27百万円	（前年同期比	4.1%減）

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

〔国内新医薬品〕

呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定のユーザーに営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー（FC）戦略及び卸店政策の強化により、主要製品の普及の最大化を推進し処方数量の増加、売上拡大に努めた結果、売上高は前年同期に対し23億73百万円上回り、645億62百万円（前年同期比3.8%増）となりました。主要製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が好調に推移しました。気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」も前年を上回る実績となりましたが、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」は前年を下回る実績となりました。

〔海外新医薬品〕

主要製品である広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン（導出先：米国アラガン社）」の売上が前年を下回り、売上高は14億34百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

〔後発医薬品〕

注力する保険調剤薬局への売上は増加したものの、他社からの受託生産品売上の減少、東日本大震災の被災地域にある販社の売上減等の影響により、売上高は64億50百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

〔一般用医薬品他〕

主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」の売上は前年とほぼ横ばいで推移しましたが、全体では売上が前年を下回り、30億47百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

この結果、当セグメントの売上高は754億95百万円（前年同期比2.4%増）となり、営業利益は114億60百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、ナノカプセル技術を応用した化粧品事業を行うドクタープログラム㈱の売上が、景気の低迷、消費の減少の影響等により前年を下回る実績となりました。この結果、当セグメントの売上高は19億1800万円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は1400万円（前年同期比85.7%減）となりました。

当社グループの中核事業における研究開発の状況は以下のとおりです。

当社グループでは、革新的な医薬品の創製がより一層厳しくなる中、世界的な新薬の創出と提供が新薬メーカーの存在意義を高め、持続成長に結びつくと認識に基づき、自社創製品、導入品による特定領域における魅力ある新薬パイプラインの構築と既存品のライフサイクルマネジメント（新効能・効果取得、剤型追加）に積極的に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における国内開発の進捗状況としましては、耳鳴治療薬「KRP-209」のPh II臨床試験及びビニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977X」のPh I臨床試験を平成23年8月より開始いたしました。潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントサ」の新用法・用量（1日1回投与）について平成23年11月に申請いたしました。その結果、研究開発費は101億8600万円（前年同期比11.6%増）となりました。

また、千寿製薬㈱へ導出している緑内障治療薬「アイファガン（点眼液）」が平成24年1月に製造販売承認を取得いたしました。

自社創薬活動は、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症、その他に重点化し、当社グループ内の杏林製薬㈱創薬研究所（日本）、ActivX社（米国）、キョーリンスコットランド研究所（英国）の3極体制で推進してきましたが、長期ビジョン「HOPE100」の考え方に沿って、創薬研究体制の見直しを進め、平成24年1月には、Scottish Biomedical Limited（英国）との委託研究契約を終了することにいたしました。今後はこれまでに培った技術、ノウハウ、人脈を活用し、当社グループとして新たな創薬研究体制の構築を目指し邁進いたします。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産が受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加、現金及び預金、繰延税金資産の減少等により59億1100万円減少しました。また、固定資産は有形固定資産、繰延税金資産の減少、投資有価証券の増加等により10億5100万円増加しました。その結果、資産は前連結会計年度末と比較して48億6000万円減少し、1,423億7400万円となりました。

負債は、短期借入金、未払法人税等、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して87億2100万円減少し、268億0600万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末と比較して38億6100万円増加し、1,155億6700万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.2%となり、前連結会計年度末より5.3ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間までの業績は予想の範囲内で推移しており、平成23年11月8日に公表いたしました通期の業績予想につきましては現段階で変更はいたしません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,518	18,584
受取手形及び売掛金	42,594	45,064
有価証券	6,976	7,068
商品及び製品	10,471	11,217
仕掛品	1,024	534
原材料及び貯蔵品	8,868	10,031
繰延税金資産	2,618	1,956
その他	6,420	4,116
貸倒引当金	△65	△57
流動資産合計	104,427	98,515
固定資産		
有形固定資産	14,916	14,304
無形固定資産		
のれん	339	224
その他	476	502
無形固定資産合計	816	726
投資その他の資産		
投資有価証券	21,660	23,999
繰延税金資産	4,111	3,568
その他	1,724	1,679
貸倒引当金	△422	△421
投資その他の資産合計	27,073	28,827
固定資産合計	42,806	43,858
資産合計	147,234	142,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,852	10,704
短期借入金	6,996	3,331
未払法人税等	3,437	922
賞与引当金	3,222	1,593
返品調整引当金	52	45
ポイント引当金	59	55
その他	5,801	5,855
流動負債合計	30,421	22,508
固定負債		
長期借入金	449	323
退職給付引当金	3,765	3,162
役員退職慰労引当金	23	29
その他	867	781
固定負債合計	5,105	4,298
負債合計	35,527	26,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	106,928	110,793
自己株式	△304	△316
株主資本合計	112,076	115,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△137	△85
為替換算調整勘定	△232	△276
その他の包括利益累計額合計	△370	△361
純資産合計	111,706	115,567
負債純資産合計	147,234	142,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	75,821	77,413
売上原価	27,708	27,431
売上総利益	48,112	49,982
販売費及び一般管理費	※1 36,800	※1 38,314
営業利益	11,312	11,668
営業外収益		
受取利息	217	141
受取配当金	89	163
受取賃貸料	205	201
持分法による投資利益	32	29
その他	44	213
営業外収益合計	589	749
営業外費用		
支払利息	35	36
投資事業組合損失	12	22
その他	5	0
営業外費用合計	53	59
経常利益	11,848	12,358
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
固定資産売却益	—	21
投資有価証券売却益	20	1
特別利益合計	22	22
特別損失		
固定資産除売却損	18	13
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	37	7
ゴルフ会員権評価損	1	0
特別損失合計	57	21
税金等調整前四半期純利益	11,813	12,358
法人税、住民税及び事業税	3,540	3,991
法人税等調整額	737	1,140
法人税等合計	4,277	5,131
少数株主損益調整前四半期純利益	7,535	7,227
四半期純利益	7,535	7,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,535	7,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	54
為替換算調整勘定	△73	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	△252	8
四半期包括利益	7,282	7,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,282	7,235
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,751	2,070	75,821	—	75,821
セグメント間の内部売上高又は 振替高	51	0	52	△52	—
計	73,802	2,070	75,873	△52	75,821
セグメント利益	11,025	104	11,130	182	11,312

(注) 1. セグメント利益の調整額182百万円は、主にセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,495	1,918	77,413	—	77,413
セグメント間の内部売上高又は 振替高	60	0	61	△61	—
計	75,555	1,919	77,475	△61	77,413
セグメント利益	11,460	14	11,475	192	11,668

(注) 1. セグメント利益の調整額192百万円は、主にセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。